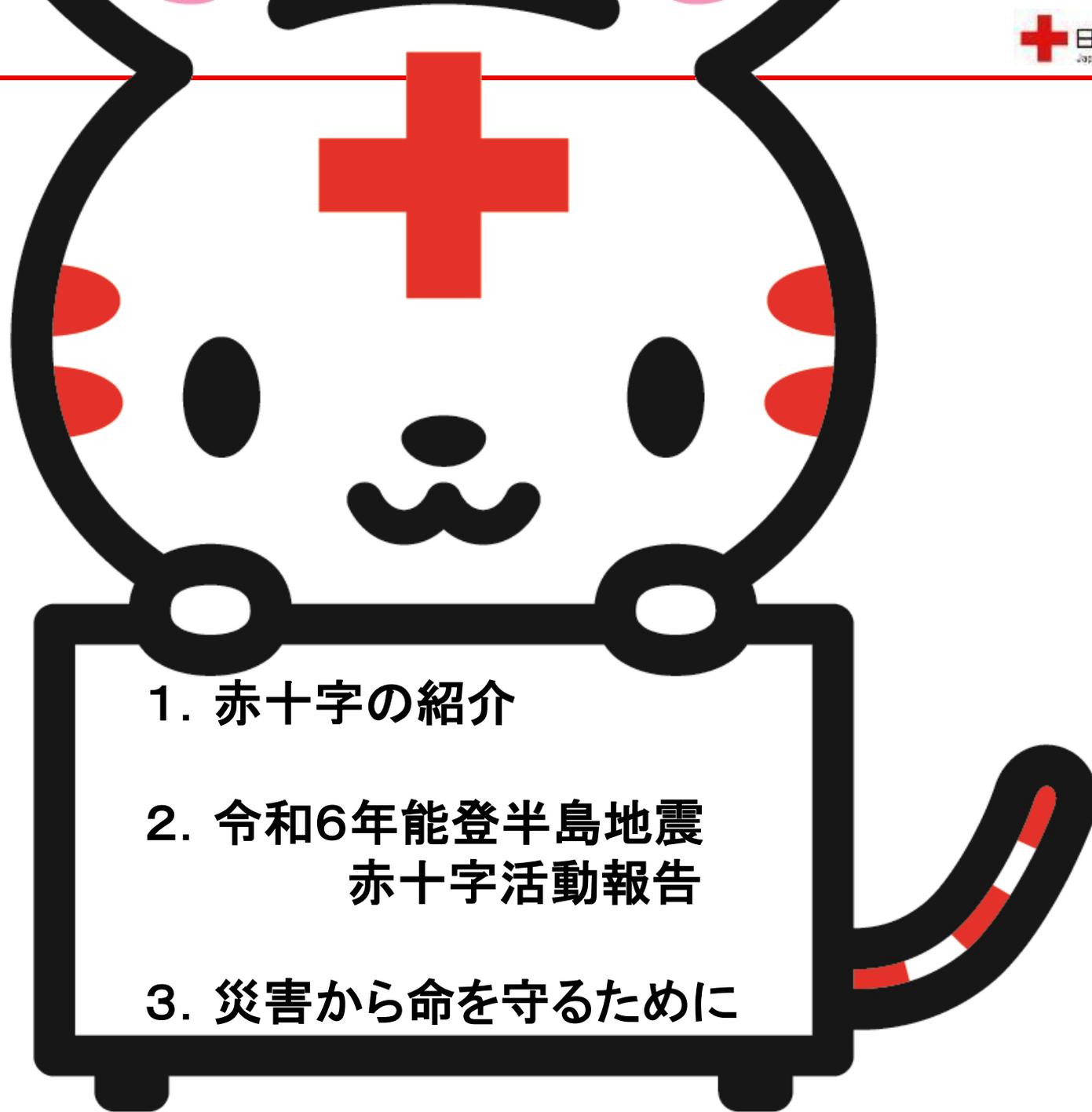


令和6年能登半島地震 赤十字活動報告



2024. 9. 29 日本赤十字社大分県支部



1. 赤十字の紹介

2. 令和6年能登半島地震
赤十字活動報告

3. 災害から命を守るために

赤十字とは？

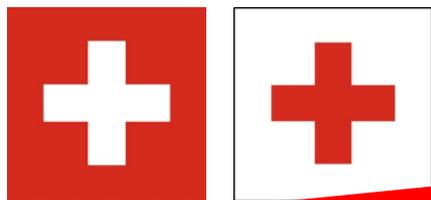
世界中で戦争・紛争犠牲者の救援をはじめ、
災害被災者の救援、医療・社会福祉事業な
ど、人道的支援活動を展開する組織



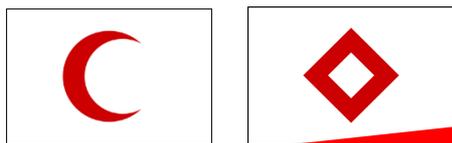
日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

赤十字の誕生



スイスに敬意を表して国旗の配色を反転



加盟国の宗教文化に配慮したマーク

1859年 イタリア統一戦争の
激戦地ソルフェリーノ
敵味方の区別なく
負傷者を救護

1863年 赤十字誕生



第1回ノーベル平和賞受賞

アンリー・デュナン
(1828.5.8 - 1910.10.30)
スイス出身

日本赤十字社の誕生



1867年 パリ万博に参加し、
赤十字の存在を知る

1877年 西南戦争で負傷者を救護
博愛社設立



日赤の創始者

佐野 常民
(1823.2.8—1902.12.7)
佐賀県出身

日本赤十字社の事業

■ 災害救護活動

災害現場での
医療救護や救援物資の配布。



■ 赤十字講習

病気やけがの予防と
とっさの時の手当など、
健康で安全な生活。



■ 医療事業

地域医療への貢献。
災害などに備えて医師、
看護師を訓練。



■ 看護師等の養成

救護や医療にあたる
看護師などを養成。



■ 青少年赤十字

学校を通じて
いのちと健康を大切にする
意識や思いやりの心を育成。



赤十字活動は、みなさまからいただいた
活動資金などで支えられています。

■ 国際活動

世界中の紛争や
災害の被災者に支援の手を。



■ 血液事業

あなたからの
温かい贈りもの、献血。



■ 赤十字ボランティア

赤十字を支え合う
ボランティア。助け合う心。



■ 社会福祉

こどもやお年寄り、
障害のある人のための
社会福祉施設の運営。



災害救護

災害時に救護班等を派遣し医療救護活動を行う

1888年 磐梯山噴火(福島県)
1995年 阪神・淡路大震災
2004年 新潟県中越地震
2011年 東日本大震災
2016年 熊本地震
2020年 新型コロナウイルス感染症対応
豪雨災害
2024年 能登半島地震
能登半島大雨災害



救護班…
医師1名・看護師3名・主事2名
訓練・研修等で救護員を養成



災害救護・防災・減災活動

こころのケア



防災セミナー
救急法講習

医療救護
救援物資の配分

令和6年能登半島地震

令和6年1月1日(月) 16時10分

石川県能登半島 最大震度7

広範囲で家屋倒壊や火災等の被害が発生
(死者 374人 住家被害 約86,000棟 R6.9.24現在)

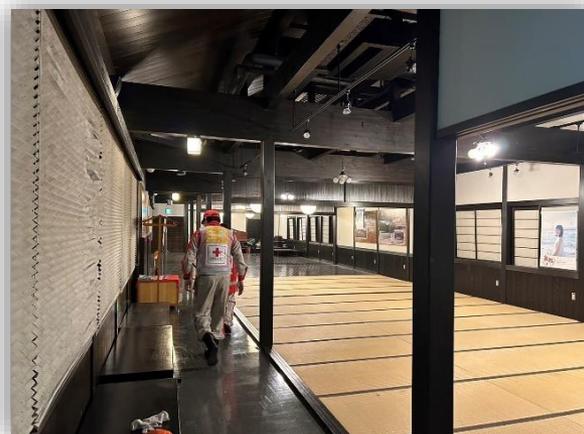


救護班等派遣

救護 石川県周辺の日赤・DMATで対応

派遣 1/3(水) 九州にも救護班派遣依頼あり
1/4(木)～福岡県支部救護班派遣
※その後、九州各県から輪番で派遣

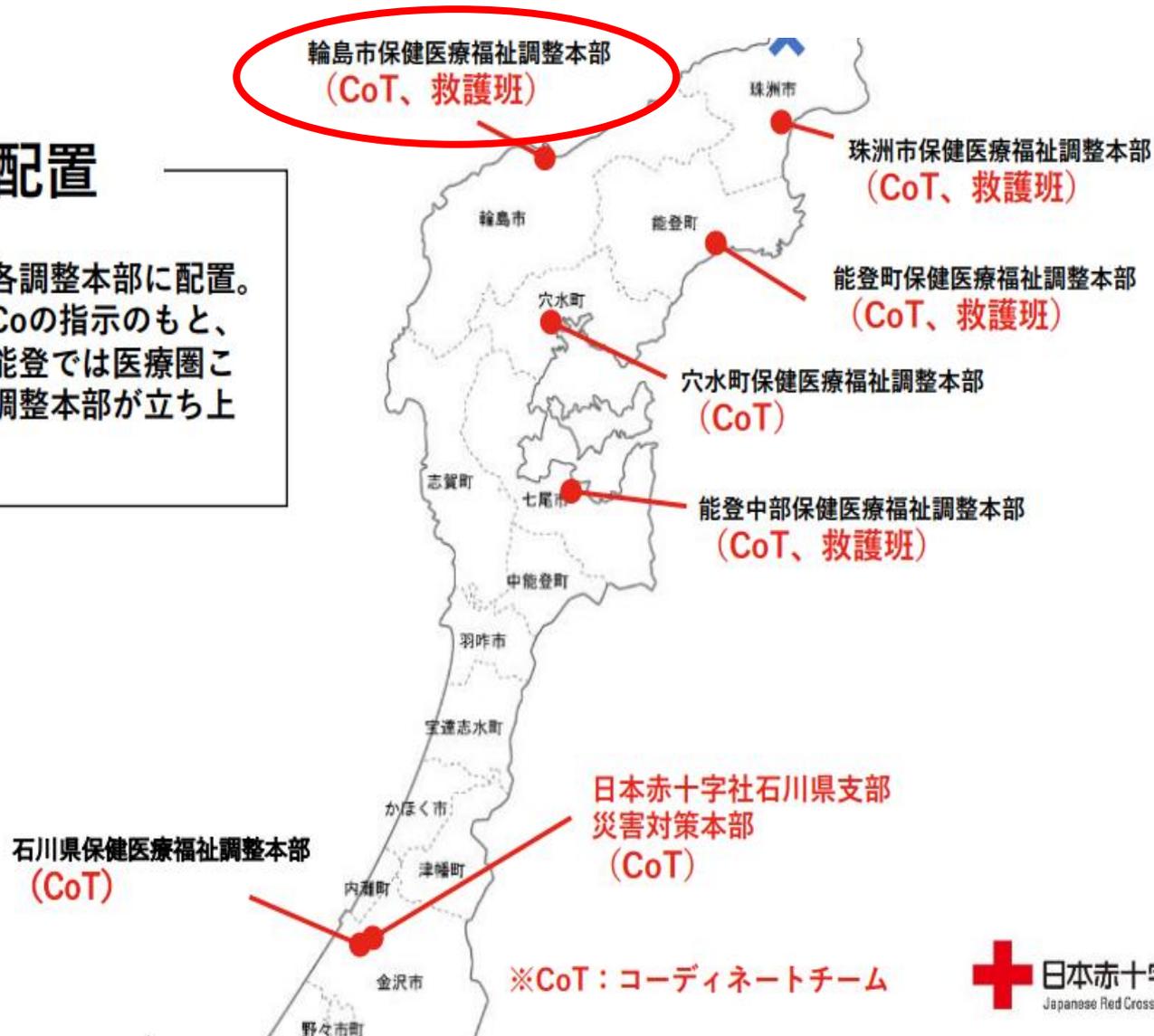
拠点 道の駅輪島 ふらっと訪夢2F



能登半島地震災害対応

CoT、救護班の配置

今回の災害においては、CoTを各調整本部に配置。CoTが他組織との連携のもと、Coの指示のもと、救護班が活動する体制を確立。能登では医療圏ごと本部ではなく、市町ごとの調整本部が立ち上がった。



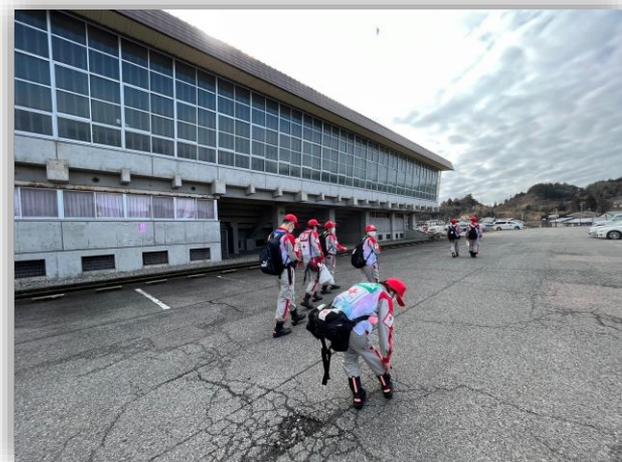


大分県支部の救護班等派遣

(1) 救護班 3班

(2) 日赤災害医療コーディネートチーム 1班

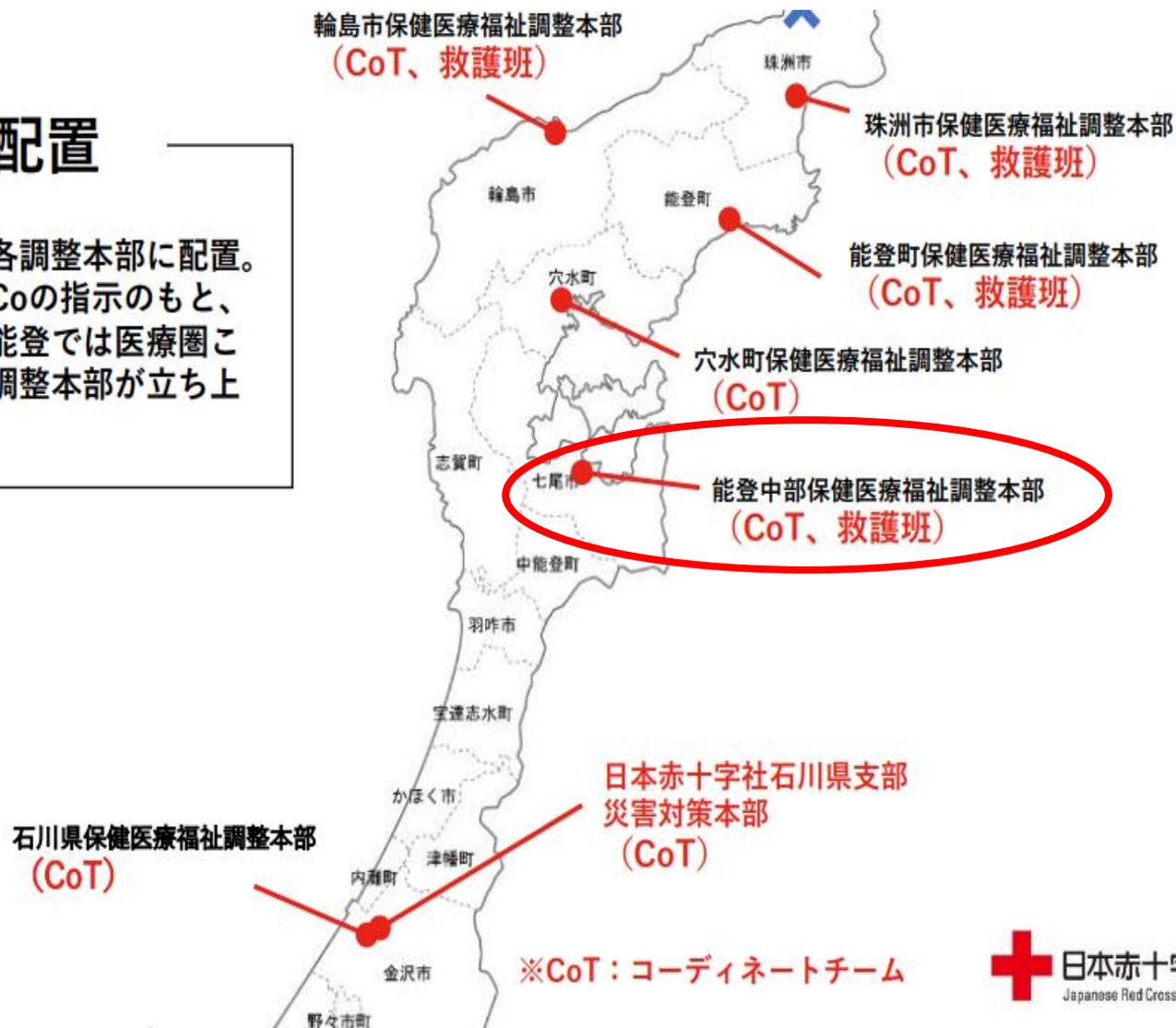
(3) こころのケア班 1班



能登半島地震災害対応

CoT、救護班の配置

今回の災害においては、CoTを各調整本部に配置。CoTが他組織との連携のもと、Coの指示のもと、救護班が活動する体制を確立。能登では医療圏ごと本部ではなく、市町ごとの調整本部が立ち上がった。



救護班



1. 班員

7名(8名)

医師1名・(研修医1名)・看護師長1名・
看護師2名・薬剤師1名・主事2名

2. 派遣期間等

| | | |
|-----|-------------------|----|
| 第1班 | 1月16日(火)～1月20日(土) | 7名 |
| 第2班 | 1月28日(日)～2月1日(木) | 8名 |
| 第3班 | 2月8日(木)～2月13日(火) | 8名 |

※初日と最終日は移動日(活動日3日～4日)

救護班

3. 活動場所 七尾市

拠点 能登中部医療圏活動拠点本部

(能登総合病院 ⇒ 能登中部保健福祉センター)

体育館・集会所・小学校など1日3～5ヶ所



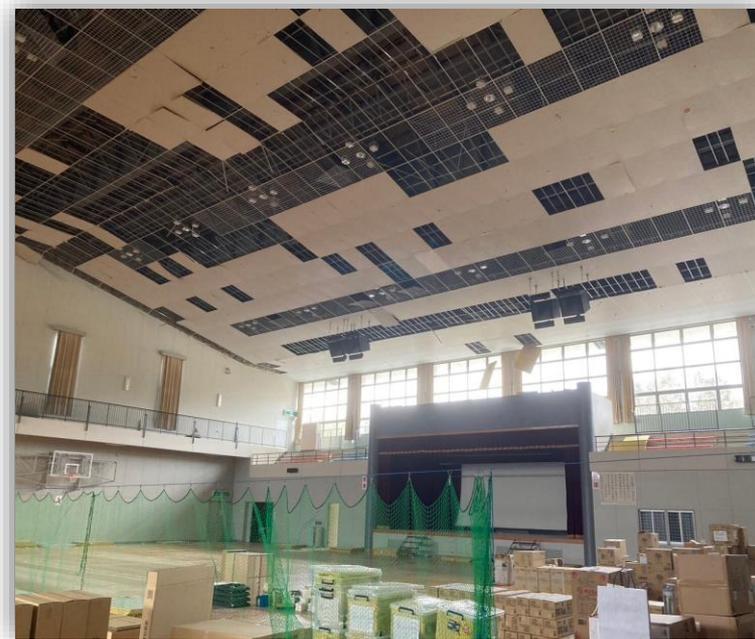
4. 活動内容

避難所アセスメント(環境調査)

巡回診療

その他









日赤災害医療コーディネーターチーム

1. メンバー

| | |
|------------------|----|
| 医師(コーディネーター) | 1名 |
| 主事(コーディネータースタッフ) | 2名 |

2. 派遣期間

2月2日(金)～2月8日(木)
※初日と最終日は移動日(活動日5日)

3. 活動場所

能登町(能登町保健医療福祉調整本部)

4. 活動内容

避難所の情報収集・日赤救護班活動の調整・
JMAT等他団体との連携・その他



こころのケア班

1. 班員

4名 { 大分 看護師長1名・看護師1名・主事1名
宮崎 看護師1名

2. 派遣期間

3月3日(日)～3月9日(土)

※初日と最終日は移動日

3. 活動場所

七尾市役所・七尾市役所分庁舎パトリア

4. 活動内容

支援者(自治体職員等)への活動支援
リフレッシュルーム対応





被災地医療機関支援

1. 人員

看護師1名

2. 派遣期間

2月29日(木)～3月6日(水)

※初日・2日目と最終日は移動日(活動4日間)

3. 活動場所

市立輪島病院

4. 活動内容

救急外来受診患者・発熱外来等対応



日赤の医療救護活動終了

(1) 救護班

3月11日(月)派遣終了

(2) 日赤コーディネートチーム

3月14日(木)派遣終了

(3) こころのケア班

5月2日(木)派遣終了



日赤の医療救護まとめ

職員派遣



救護班(DMAT含む)
延べ**342班**を派遣



日赤災害医療
コーディネートチーム
延べ**119チーム**を派遣



こころのケア班(調整班除く)
延べ**45班**を派遣



支部支援要員
68人を派遣

ボランティアの活動



赤十字ボランティア
延べ**1,709人**が活動

救援物資の配布



毛布 **16,005枚**



安眠セット **5,230セット**



緊急セット **2,224セット**



その他
携帯型簡易トイレ**3,400個** 等

災害救援物資



毛布・タオルケット



緊急セット



ブルーシート



バスタオル



タオル



安眠セット

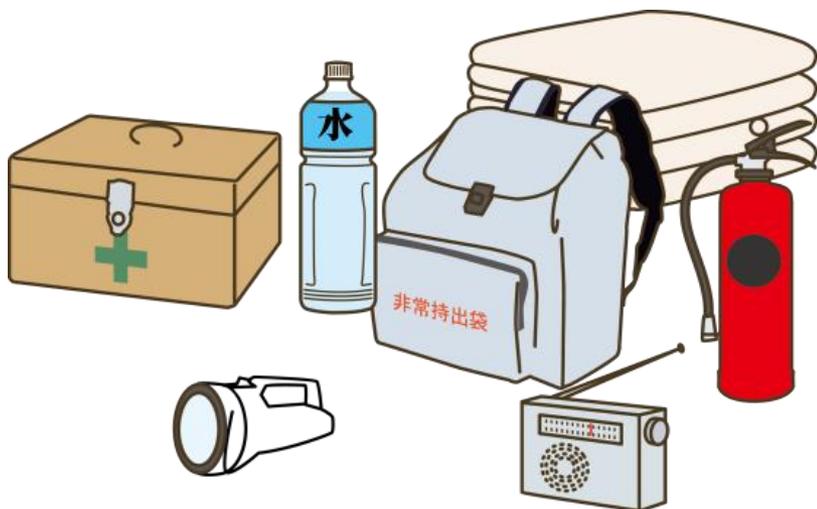
※地区・分区に備蓄 災害時だけでなく火災や風水害の被災者にも配分

災害への備え



災害に備えるために

「自助（じじょ）」



「共助（きょうじょ）」



- 災害発生時に「いのちを守る」
- 災害発生後の「いのちをつなぐ」

周りの人を助けるためにも まずは自分の命を守る

自分や家族が助かる
【安全な場所への避難】

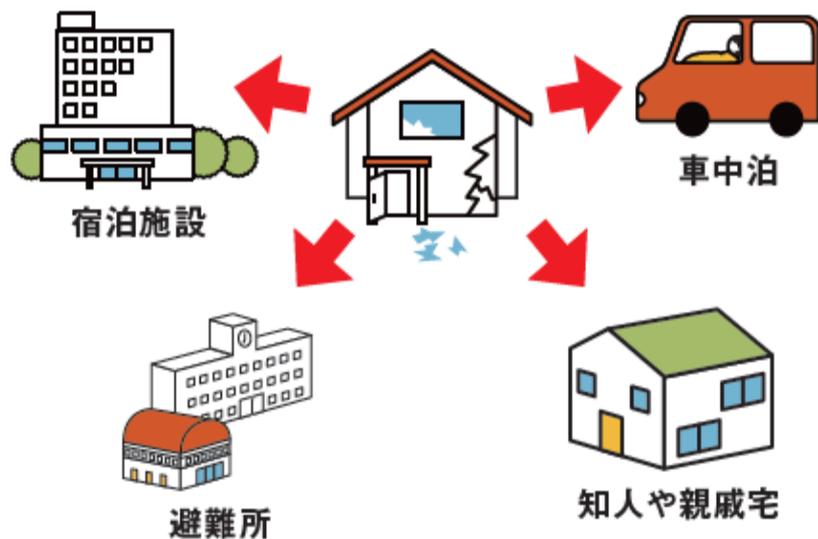


大雨・土砂災害からいのちを守るために 早めに安全な場所に避難する



安全な場所への避難

家の安全が確保されていない



直ちに安全な場所へ避難

家の安全が確保されている



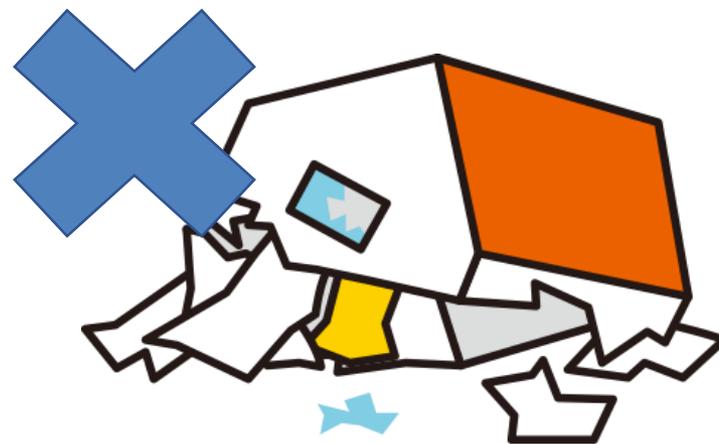
さらにプライバシーも確保

在宅避難 自宅の安全を確保

- 家屋の耐震化
- 家具の安全対策
- 十分な備蓄



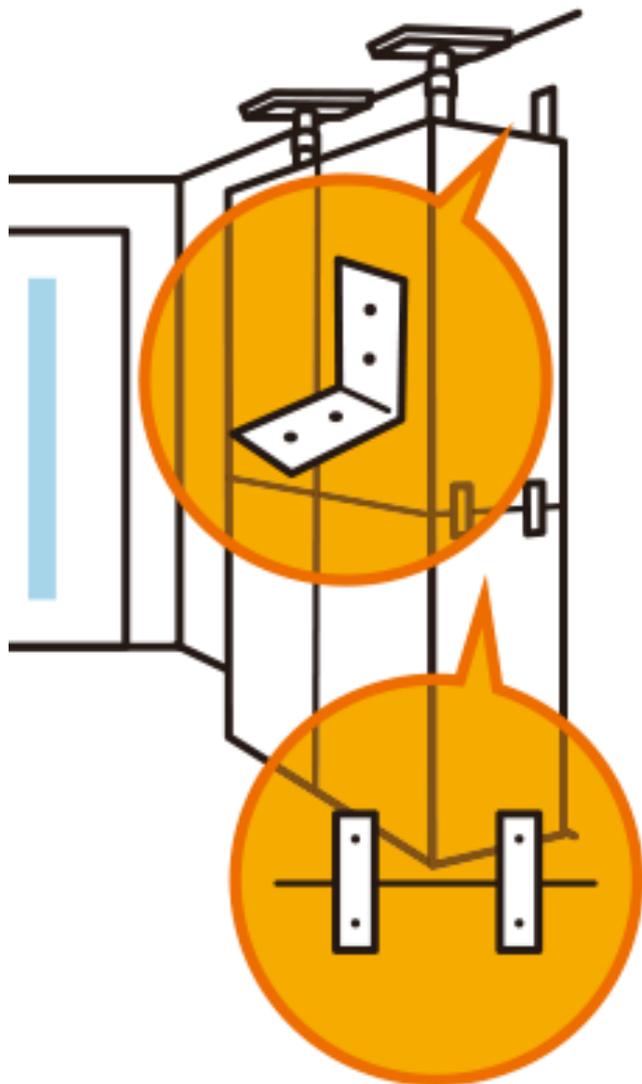
出典：消防庁「チャレンジ！防災48」



耐震化していますか？
新耐震基準：1981（S56）年

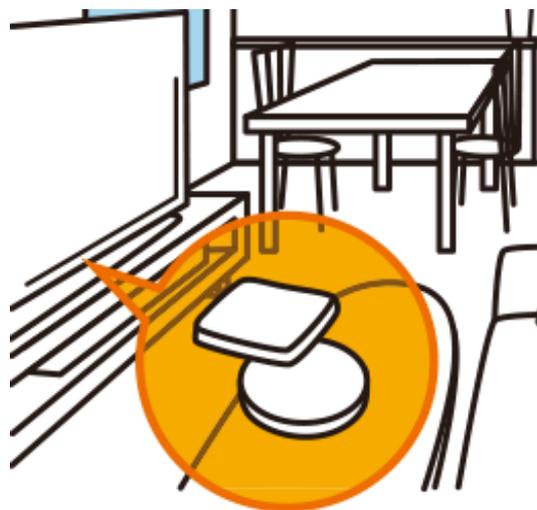
転倒する家具

- ポール式で固定
 - * 天井や家具の強度が重要
- L字金具で固定
- 連結器具で固定



撮影:日本赤十字社北海道支部

転倒する家具



出典:家具類の転倒・落下・移動防止対策
ハンドブック(令和4年度版) 東京消防庁

- 粘着マット式で固定

- 重い物は下に収納

*家具の重量に注意！

落下する・割れる家具



- 扉を留め具で固定

- 飛散防止フィルムを貼る

非常持ち出し品

貴重品

※現物を持ち出せなかった場合に備えて、必要に応じてコピーを入れておく



情報収集用品



便利品など



食料など



清潔・健康のためのもの



個々の実情に応じて必要となるもの



備蓄の準備・見直し

✓ 食料品

1日3食×7日分×家族の人数分

✓ 水

1日3リットル×7日分×家族の人数分

✓ 携帯トイレ

1日〇回分*×7日分×家族の人数分

*1日に何回トイレに行くか想定



自動ラップ式トイレ



地震による火災



広域で同時に多発し

消火が追いつかない

地域で力を助け合う



提供：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

出典：消防庁「チャレンジ！防災48」

災害は非情

熊本地震災害 2016年4月

熊本豪雨災害 2020年7月

能登半島地震 2024年1月

能登半島大雨災害 2024年9月

命を守るために

いつ起こるか
分からない災害に、
普段から
備えましょう

